

漢方のメッカ推進プロジェクト

◆奈良県にゆかりの深い”漢方”について、生薬の生産拡大から関連する商品・サービスの創出等に総合的に取り組んでいます。 【令和 5年度当初予算 27百万円】

◇背景・目的

超高齢社会の到来を受け、増大する医療費削減の観点からも予防医学の意義が再認識されつつあり、漢方が注目を集めている。

本県は漢方について、飛鳥・奈良時代にまで遡る歴史的・文化的厚みや、地場産業として配置薬業が発展してきた他の地域にはない特徴がある。

今後、需要が見込まれる漢方に関し、こうした奈良県ならではの蓄積を活かし、原料となる薬用作物の生産、漢方関連品の製造販売に関する既存薬業等の振興はもとより、関連する新たな商品・サービス等の創出も視野に入れ、県内産業の活性化を図る。

◇プロジェクトチーム（H24.12設置）

- ・アドバイザー 渡辺賢治 奈良県漢方推進顧問（一般社団法人漢方産業化推進研究会代表理事）
- ・関係部局 産業・観光・雇用振興部、知事公室、医療政策局、観光局、食と農の振興部、県立医科大学

◇事業内容

プロジェクトチームで生産から販売までに一貫的に取り組む

- ・ステージ1 生薬の供給拡大 薬用作物の安定生産に関する研究 など
 - ・ステージ2 漢方薬等の研究・臨床
 - ・ステージ3 漢方薬等の製造
 - ・ステージ4 漢方薬等の販売促進 首都圏や近畿圏での大規模展示会への出展 など
 - ・ステージ5 漢方の普及 漢方に関する講演会等の開催 など
- 製品化に向けた研究 など

漢方のメッカ推進協議会

◇漢方のメッカ推進協議会（平成27年7月1日設立）とは

川上の薬草栽培から川下の製薬・食品メーカー、外食産業までの事業者等や機能性、臨床等研究を行う大学・研究機関等の研究者による情報交換、交流を促進し、漢方関連の新たな商品やビジネスモデルの創出を目指した研究成果などの利活用体制の構築を図っています。

◇会員数

178団体(令和5年2月末現在)

※協議会の目的に賛同する、農業法人、企業、大学、研究機関、諸団体等に所属されている方が入会いただけます。

漢方のメッカ推進協議会に入会いただいた方を対象に実施している事業もあります。
ご興味のある方は、奮ってご入会ください。

参考HP：<https://www.pref.nara.jp/44023.htm#itemid161482>

◆ 漢方のメッカ推進協議会会員を対象とした事業例



<大規模展示会>



<販売会>



<講演会>